【資料１】第３回高松市下水道事業運営検討委員会からの変更点

第３回下水道事業運営検討委員会からの変更点

番号	章	修　正　点	概要 ﾍﾟｰｼﾞ	全体版 ﾍﾟｰｼﾞ
1	第３章	【３－３　SDGｓ（持続可能な開発目標）の実現】 本市下水道事業において、SDGｓが示すゴールのうち、特に、「６　安全な水とトイレを世界中に」、「１１　住み続けられるまちづくりを」、「１３　気候変動に具体的な対策を」を中心として、本計画に基づく各種の取組も、その理念や目標を踏まえ、実施していくこととし、本計画の目標・対応すべき課題に対して関連するSDGｓも掲載することにしました。	3	26
2	第４章	【４－２　具体的取組、指標等】 各指標における実績値について、R5実績値とともに、H30実績値も追記することにしました。	4	33・38 43・46 73～75
3		【４－１　基本施策】【４－２　具体的取組、指標等】 【目標Ⅱ】防災・減災に向けた安心・安全なまちづくり ・下水道施設の耐震化及び減災対策を計画的に実施するに当たって、「東日本大震災の教訓を踏まえ、」を、「東日本大震災や能登半島地震などの教訓を踏まえ、」と、文言を追加しました。 ・取組内容Ⅱ－（２）－⑧に、能登半島地震の教訓を踏まえ、災害時においても、特に、上下水の確保が必要とされる重要施設に接続している管路等について、優先的に耐震化が図られるよう、施設の耐震化を進める旨を追記しました。	－	30 41
4		【４－２　具体的取組、指標等】 【目標Ⅲ】自然環境と生活環境の共生 取組内容Ⅲ－（１）－①については、オンサイトPPA方式による太陽光発電を導入した結果、香東川浄化センターの使用電力の約１／３が再生可能エネルギーに置換される見込みである旨を追記しました。	－	44

第３回下水道事業運営検討委員会からの変更点

番号	章	修　正　点	概要 ﾍﾟｰｼﾞ	全体版 ﾍﾟｰｼﾞ
5	第４章	【４－２　具体的取組、指標等】 【目標Ⅳ】次世代につなぐ事業運営 ・指標名「汚水処理原価」、「経費回収率」及び「使用料単価」の３指標について、第３回下水道事業運営検討委員会における委員の意見（経費回収率の目標値100%と80%以上を維持が乖離している）を踏まえ、更新後の財政収支見通しから、目標値の設定を行う案としていましたが、「経費回収率の向上に向けたロードマップ」及び望ましい水準を踏まえた目標値の設定を行うこととしました。 「汚水処理原価」は、更新後の財政収支見通しからの算出数値をベースとし、「経費回収率」は、ロードマップにおける目標（８０%以上を維持）との整合を図ること及び１００%以上が望ましい水準とされていることを踏まえ、幅を持たせた数値に見直しました。 あわせて、「使用料単価」も、「汚水処理原価」に「経費回収率」を乗じて算出することから、「経費回収率」と連動して、見直しました。	4	46・73 75

指標	当初	見直し検討案(※)	最終見直し案
汚水処理原価	151.0円	163.0円→197.0円	197.0円
経費回収率	108.0%	100.0%→ 83.0%	80.0～100.0%
使用料単価	163.0円	163.0円	157.6～197.0円
ロードマップに新たに掲載する経費回収率目標値		80%以上を維持	同左

※ 第３回下水道事業運営検討委員会